

NY マーケットレポート (2017 年 5 月 9 日)

NY 市場では、米債券利回りの上昇が続いたことや、序盤に発表された米卸売在庫、JOLT 求人件数が市場予想を上回る結果となったことを好感して、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。特に、ドル/円は 3/15 以来の 114 円台まで上昇した。また、目先のリスクが後退したとの見方から円が売られる動きとなり、クロス円も堅調な動きとなった。

ユーロは、欧州主要株価が堅調な動きとなったことも好感され、2016 年 5 月 12 日以来の高値を付ける動きとなった。しかし、終盤には、北朝鮮の駐英大使が、6 回目の核実験実施の可能性に言及したとの報道を受けて、再びリスクが意識されたことから円が買われる動きとなり、ドル円・クロス円は反落となった。

2017年 5月 9日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.64	113.69	113.14
EUR/JPY	124.13	124.18	123.66
GBP/JPY	147.25	147.28	146.45
AUD/JPY	83.59	83.83	83.21
EUR/USD	1.0924	1.0934	1.0902

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.90	113.59
EUR/JPY	124.18	123.85
GBP/JPY	147.27	146.89
AUD/JPY	83.78	83.41
EUR/USD	1.0926	1.0880

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.87	114.33	113.77
EUR/JPY	123.83	124.54	123.75
GBP/JPY	147.28	147.88	147.07
AUD/JPY	83.58	84.03	83.50
NZD/JPY	78.50	78.91	78.44
EUR/USD	1.0875	1.0907	1.0864
AUD/USD	0.7340	0.7366	0.7333

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20975.78	-36.50
S&P500	2396.92	-2.46
NASDAQ	6120.59	+17.93
日経225 (CME)	19955	+40
トロント総合	15569.20	-82.88
ボルサ指数	49939.47	+433.61
ボベスパ指数	66277.69	+751.64

5/10 経済指標スケジュール

08:50 【日本】4月日銀金融政策決定会合[4月分・主な意見]
 08:50 【日本】4月外貨準備高
 10:30 【中国】4月生産者物価指数
 10:30 【中国】4月消費者物価指数
 14:00 【日本】3月景気一致CPI指数
 14:00 【日本】3月景気先行CPI指数
 15:00 【ノルウェー】4月消費者物価指数
 15:00 【ノルウェー】4月生産者物価指数
 15:45 【フランス】3月経常収支
 15:45 【フランス】3月貿易収支
 15:45 【フランス】3月鉱工業生産
 15:45 【フランス】3月製造業生産指数
 16:30 【スウェーデン】3月個人消費
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 21:30 【米国】4月輸入物価指数
 03:00 【米国】4月財政収支
 06:00 【ニュージーランド】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1216.10	-11.00
NY 原油	45.88	-0.55
CME コーン	366.50	+0.50
CBOT 大豆	974.00	9.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.343%	1.326%
3年債	1.538%	1.524%
5年債	1.921%	1.906%
7年債	2.207%	2.192%
10年債	2.394%	2.380%
30年債	3.023%	3.017%

ドイツ10年債	0.430%	0.418%
英国 10年債	1.202%	1.147%

5/10 主要会議・講演・その他予定

- ・ MPC (BOE金融政策委員会) ～11日
- ・ ポストン連銀総裁 講演
- ・ 米10年債入札

NY 市場レポート

19 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4 月米 NFIB 中小企業楽観指数 104.5(前回 104.7 予想 104.0)



指標結果データ

◀NFIB 中小企業楽観指数▶

4 月・・3 月・・2 月・・1 月・・12 月・・11 月

中小企業楽観指数・・104.50・・104.7・・105.30・・105.90・・105.80

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月カナダ住宅建設許可(前月比) -5.8%(予想 2.8%・前回 -2.8%)

前回発表の-2.5%から -2.8%に修正



22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4 月メキシコ消費者物価指数(前月比) 0.12% (予想 0.05%・前回 0.61%)

4 月メキシコ消費者物価指数(前年比) 5.82% (予想 5.74%・前回 5.35%)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月米卸売在庫 (前月比) 0.2% (予想 -0.1%・前回 -0.1%)

3 月米卸売売上高 (前月比) 0.0% (前回 0.7%)

前回発表の 0.6% から 0.7% に修正



出所 : Bloomberg



指標結果データ

《米卸売在庫》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
在庫合計	0.2	0.3	-0.2	0.8	1.1	-0.2
耐久財	0.6	0.2	-0.2	0.7	1.2	-0.1
・自動車	1.9	0.4	-3.6	2.2	3.7	0.8
・機械	-0.5	-0.2	-0.1	0.1	0.1	-1.2
非耐久財	-0.5	0.4	-0.2	0.9	0.9	-0.2
・医薬品	1.6	1.6	-1.6	1.4	0.8	-2.6
・食料雑貨	-0.8	-1.7	1.8	0.3	0.6	0.3
売上合計	0.0	0.7	0.3	2.4	0.4	1.2
耐久財	0.0	0.4	0.7	2.8	0.5	0.8
・自動車	0.7	-5.1	3.4	6.3	0.2	0.5
・機械	1.2	3.2	1.1	-0.2	1.9	0.4
非耐久財	0.0	0.9	-0.1	2.0	0.3	1.5
・医薬品	-0.2	0.1	-0.5	-1.3	2.5	0.3
・食料雑貨	1.2	-0.4	1.1	-0.4	0.8	-0.8

3月の米卸売在庫は、市場予想の-0.1%に反して前月比+0.2%の5945億6300万ドルとなり、2ヵ月連続のプラスとなった。前年同月比では+3.0%となった。非耐久財がマイナスとなったが、耐久財はプラスとなったことが影響した。耐久財は+0.6%となり、自動車が+1.9%、電気製品が+2.3%、機械は-0.5%、金属は-0.3%となった。一方、非耐久財は-0.5%となり、農産物が-5.2%、石油製品が-3.0%、医薬品は+1.6%、紙製品は+1.9%となった。

3月の米卸売売上高は、市場予想の+0.2%を下回る前月比0.0%の4654億9200万ドルとなった。前年同月比では+9.1%だった。耐久財、非耐久財ともにほぼ横ばいだった。耐久財では自動車が+0.7%、専門機器は-1.8%となり、非耐久財では石油製品が-0.6%、農産物は+1.7%となった。在庫高は売上高の1.28ヵ月分に相当し前月から変わらなかった。

英国総選挙（6月8日）の政党支持率（5月5日現在）

保守党 47%（5月3時点 48%）、労働党 28%（29%）、自由民主党 11%（10%）、英国独立党 6%（5%）、緑の党 2%（2%）、スコットランド民族党 5%（5%）。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月米 JOLT 労働調査[求人件数] 574.3 万件（予想 573.8 万件・前回 568.2 万件）
 前回発表の 574.3 万件から 568.2 万件に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀ JOLT 労働調査 ▶

3 月・2 月・1 月・12 月・11 月・10 月

求人件数・574.3・568.2・562.5・553.9・563.1・558.7

3 月の米求人件数は、574.3 万件と、前月の 568.2 万件から +6.1 万件となり、8 ヶ月ぶり高水準となった。特に、製造業やビジネスサービスで増加した。3 月に雇用された労働者は 526 万人と前月の 525 万人から微増。雇用率は 3.6% と前月と変わらず。また、自発的離職者は 312 万人と前月の 304 万人から増加。離職率は前月と変わらず 2.1% となった。3 月までの 1 年間で創出された雇用は 230 万人の純増、年間の雇用創出 6290 万人に対して、自発的離職者に解雇者を加えたセパレーションは 6050 万人だった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5 月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 51.3（前回 51.7）

指標結果データ

◀ IBD/TIPP 景気楽観指数 ▶

5 月・4 月・3 月・2 月

景気楽観指数・51.3・51.7・55.3・56.4

半年先の景気先行・49.6・51.1・53.6・55.6

資金繰り見通し・57.1・61.3・62.6・62.8

政府の政策信頼度・47.1・42.6・49.6・50.9

5 月の米 IBD/TIPP 景気楽観指数は、51.3 と前月から 0.4 ポイント低下し、昨年 10 月以来 7 ヶ月ぶりの低水準となった。ただ、節目の 50 は 8 ヶ月連続で上回った。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目され、50 を上回ると楽観的に判断する。構成指数では向こう半年の景気が 49.6（前月 51.1）、資金繰り見通しが 57.1（61.3）と前月から低下したが、連邦政府の政策信頼度は 47.1（42.6）と上昇した。

0 : 45

《 要人発言 》

ジョージ・カンザスシティ連銀総裁

- ・「緩やかな利上げを遅らせるのはリスクになる」
- ・「1Qの成長減速は、緩やかな利上げ停止の理由にならない」
- ・「国外環境による下向きリスクは低下した」
- ・「緩やかな政策引き締めを支持」
- ・「バランスシート、年内の縮小開始をあらためて支持」

2 : 00

《米財務省 3 年債入札》

最高落札利回り・・・1.572%（前回 1.525%）
 最低落札利回り・・・1.288%（前回 1.380%）
 最高利回り落札比率・・・87.86%（前回 13.13%）
 応札倍率・・・2.76 倍（前回 2.62 倍）

2 : 10

《 要人発言 》

ローゼングレン・ボストン連銀総裁

- ・「失業率 4.4%は完全雇用より低い」
- ・「政策金利は歴史的基準から見てかなり低い」
- ・「大規模なバランスシートは中長期金利を抑制」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 11.00 ドル安の 1 オンス＝1216.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米 FRB が 6 月に追加利上げに踏み切るとの見方を背景に金の売りが優勢となった。また、フランス大統領選が終了し、投資家がリスク選好を強めていることも影響した。終値ベースでは、3 月中旬以来、約 2 ヶ月ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.55 ドル安の 1 バレル＝45.88 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC が原油減産を延長しても米国などの増産で世界的な供給過剰の解消には不十分との見方が根強く、売りが優勢となった。また、ドルが上昇したことでドル建て原油の割高感が出たことも圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、やや新規材料に乏しい中、欧州の主要株価指数が軒並み上昇したことを受けて、米主要株価は小動きながら堅調な展開で始まった。また、米経済指標が予想を上回る結果となったことも影響した。ただ、米国の利上げ期待の高まりもあり、その後は上値の重い動きとなった。そして、終盤には、北朝鮮の核実験実施の可能性が報道されたことを受けて、ダウは下げ幅を拡大する動きとなった。一方、ナスダックはプラスを維持して引けた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の経済指標が比較的堅調な結果となったことや、引き続き米債券利回りが上昇したことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、目先のリスクが後退したとの見方から、円が売られる動きとなり、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、終盤には北朝鮮の核実験に関する報道を受けてリスクが意識され、ドル円・クロス円は反落となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。